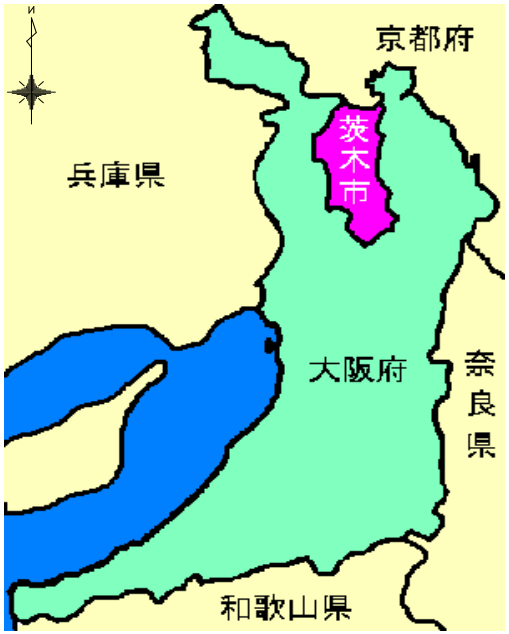
茨木の農林業について



写真：上音羽地区

茨木市の概要



面積：76.49km²



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

人口　285,917 人（令和8年5月末現在）

・市の花　バラ



・市の木　カシ



市制20周年と万博開催を記念して
昭和42年11月3日に市内の全自治会長による
アンケートにより制定。

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○茨木市の農業

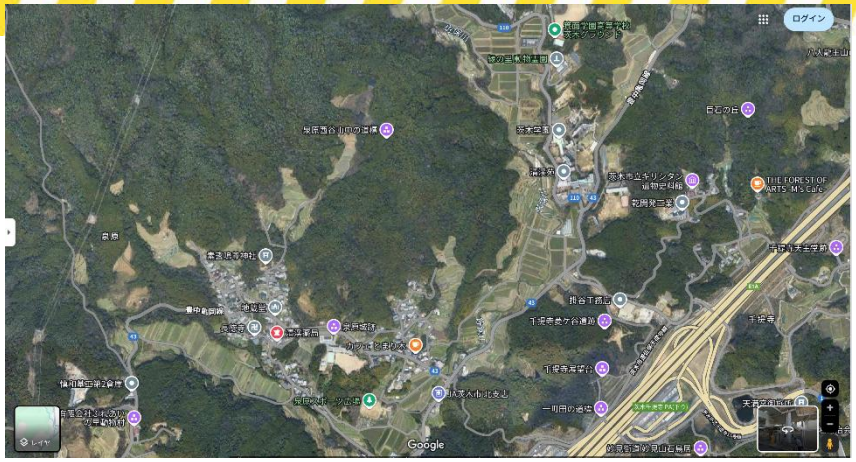
- 市全体の農地の面積は約537ha
  市域全体の7%
  （市域面積7,649ha）※令和6年面積調査より

- 171号以北に多く農地が分布するほか、南部地域にも一団の農地が分布。

- 市内には大阪府中央卸売市場が存在し、近畿自動車道や名神高速茨木IC、新名神高速茨木千提寺ICが立地するなど、アクセス良好。



出典：茨木市都市計画マスタープラン







北部地域：

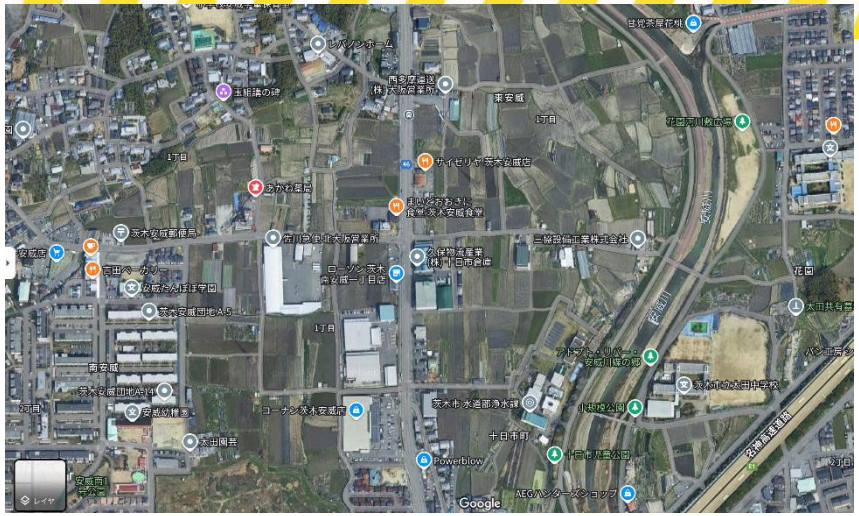
・新名神茨木千提寺IC、彩都、安威川ダムなどが地域の活性化に寄与。

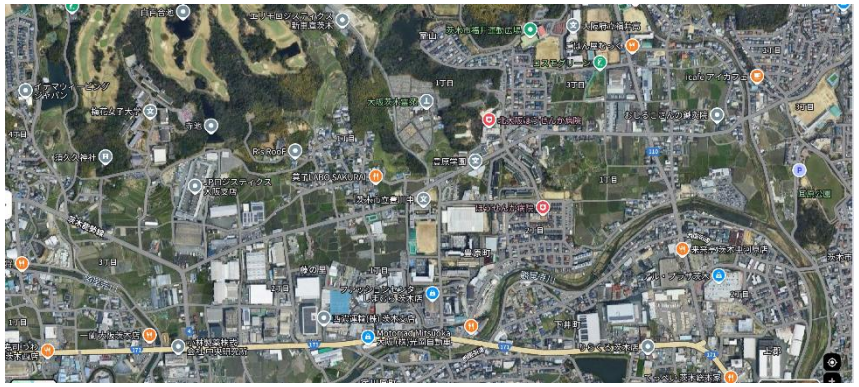
・圃場整備された農地と小規模な農地、棚田が混在。

北部地域の農地例









丘陵地域：
・国道171号と名神茨木ICに近接し、複数の大学が地域と協働。
・圃場整備された農地と小規模な農地が混在。



丘陵地域の農地例









中央地域：

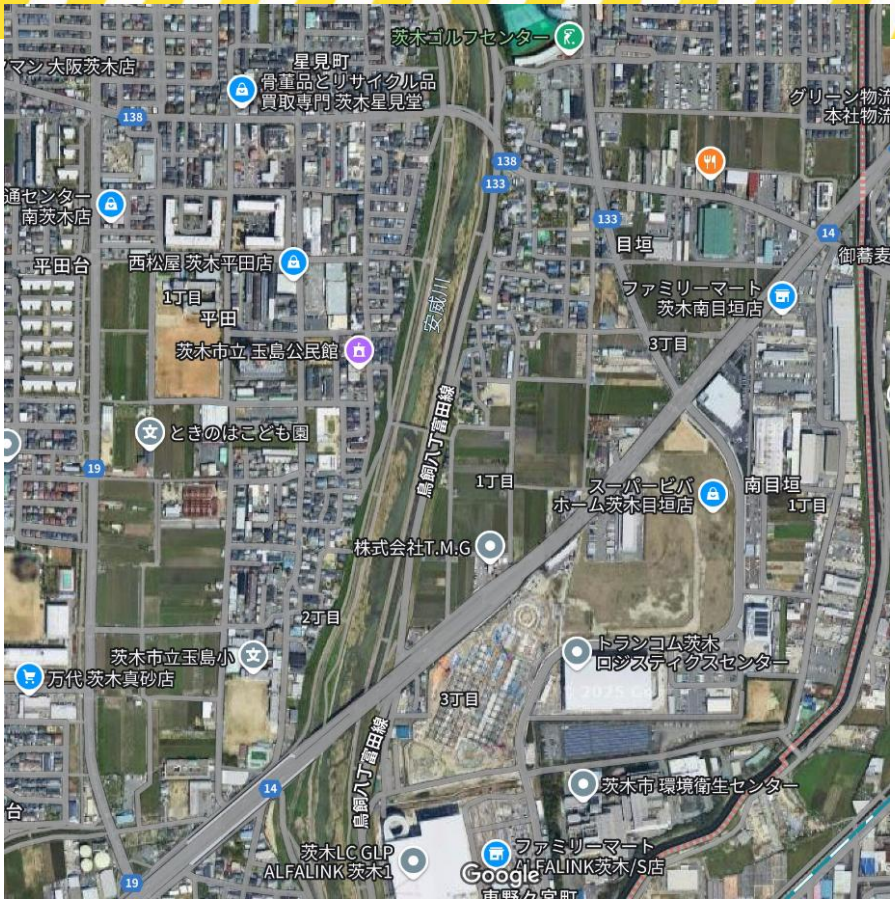
・市街化区域内に農地が点在。

・一部市街化調整区域があり、平坦。

中央地域の農地例







南部地域：
・市街地に隣接し、大型商業施設など、消費地に最も近いエリア。
・圃場整備された農地が多い。
・中央卸売市場が近い。



南部地域の農地例



○農地の現況　　※R6年農林水産省調査値

- 耕地面積　　537ha
  うち田耕地面積　　484ha(90.1%)
  畑耕作面積　　53ha(9.9%)

☆本市の場合、耕地面積の9割が田

○水稲について　　※R6年農林水産省調査値

- 作付面積　　314ha
  うち販売目的は156ha（作付面積の50.0%）

☆作付面積の50%が自給的作付

- 生産量　　1,520t
  うち農協買取量　217t(うち学校給食に199t)

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○畑作について

※令和7年度営農計画書

- 本市の場合、主要な作目、水稲、大豆、経営所得安定対策における地域振興作物（トマト、なす、とうがらし類、かぼちゃ、さといも、きゅうり、オクラ、スイートコーン、さつまいも、ねぎ）、花き類を中心として生産振興を図っている。

主な作付予定野菜	予定面積	主な作付予定野菜	予定面積
トマト（ミニトマトを含む）	10.4ha	じゃがいも	1.2ha
きゅうり	4.4ha	すいか	1.2ha
なす	3.8ha	スイートコーン	1.1ha
大豆	3.6ha	ねぎ	0.9ha
さつまいも	3.2ha	とうがらし類	0.7ha
かぼちゃ	1.6ha	キャベツ	0.6ha
たまねぎ	1.3ha	いちご	0.5ha
さといも	1.3ha	オクラ	0.2ha

花き類	3.2ha

など

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

特産品など



三島独活



見山の赤紫蘇



大甘青とう



ミニトマト
（あまっこ）



祝蕾



フルーツパプリカ
（ぱぷ丸）

○レンゲ米について

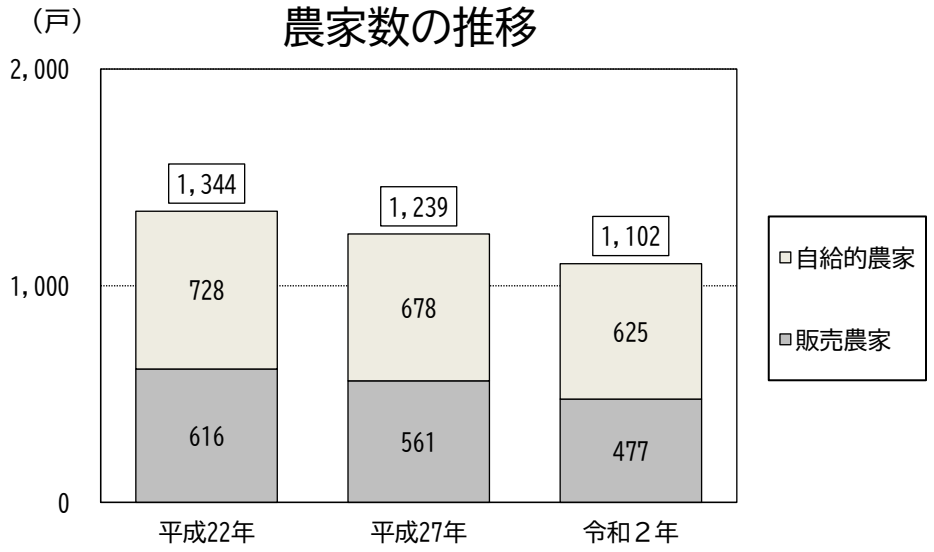
- レンゲを堆肥として栽培するレンゲ米を新たな特産品とするため、茨木市、大阪府、JA茨木市など共同で栽培方法を研究し、平成26年度より栽培を開始。
- 現在、13地区で約11haを栽培。市では栽培促進を図るため、計画栽培面積1アールあたり900円の補助支援を行っている。
- 販売は市内直売所で実施。





○農家数等について

- 販売農家数の9割が1.0ha以下の農家
- 農家数の減少が年々進んでいる。また、担い手の高齢化や後継者不足が進んでおり、将来、ますます担い手不足が進むと考えられる。
- 農業経営基盤強化促進法が改正にともない、市街化調整区域内に農地がある地域を対象に地域計画を策定（42地区）。
- 地域計画に、将来の受け手が位置づけられていない農地の割合は約52%

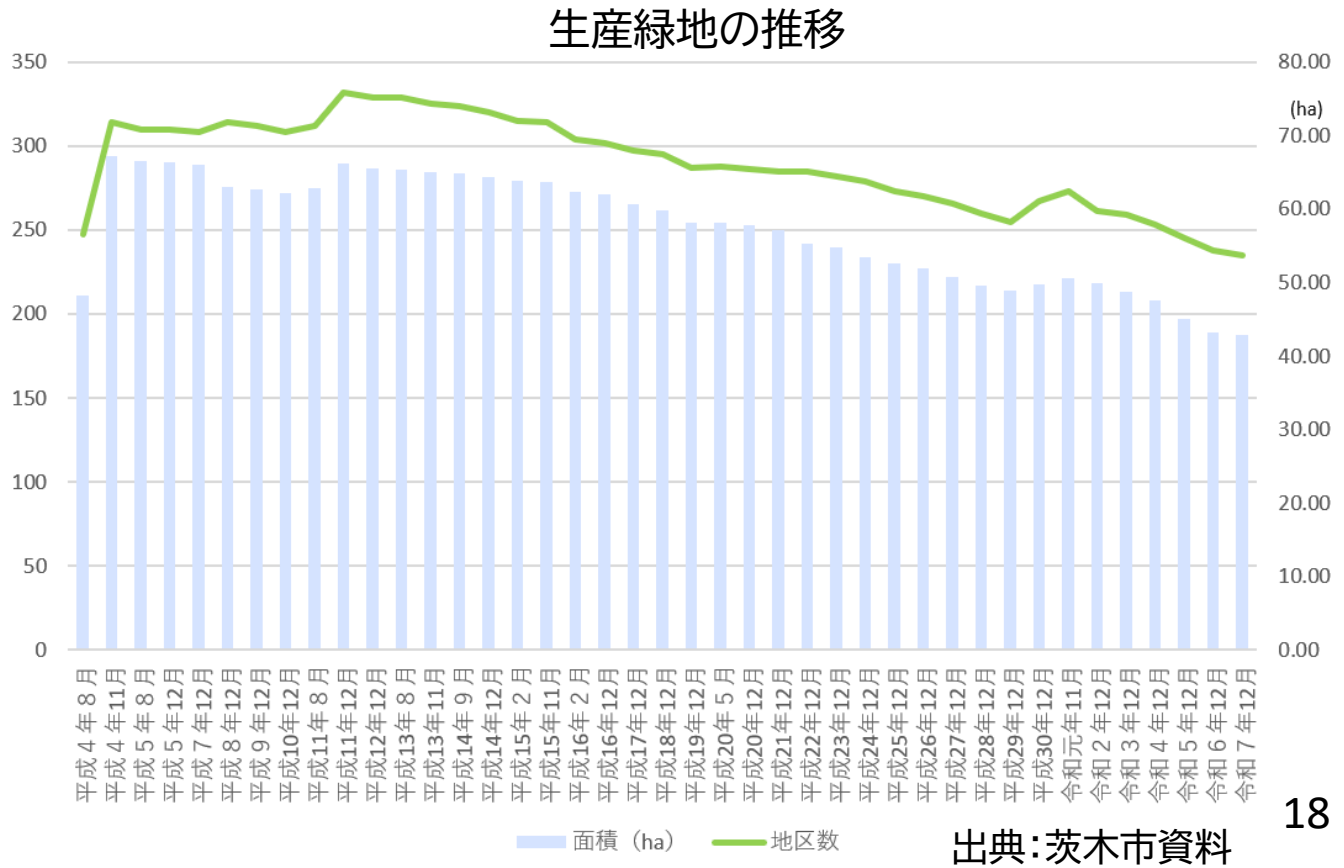


出典：農林業センサス

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○生産緑地の状況について

- 生産緑地とは、都市計画法によって「生産緑地地区」として指定された、良好な都市環境の形成を図るために、市街化区域内農地の緑地としての機能を活かし、計画的に農地を保全いく農地。
- 本市の生産緑地の面積及び、地区数は減少傾向。



出典：茨木市資料

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

市として農の担い手確保に向けた施策

(1)集落営農組織化支援及び運営支援

- 現在、集落営農組織は8団体。
- 市として組織化支援を実施。
- 設立後、営農活動支援として農業用機械のリース事業を行っている。

○茨木市農業用機械貸与事業

- リース機械:トラクター、田植機、コンバイン　など
- リース期間:10年間
- リース料:(年額)機械購入費100分の5
  ※10年後にリース先に譲渡

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

市として農の担い手確保に向けた施策

（2）新たな農の担い手の確保

- 大阪府の準農家制度の廃止されたことにより、市として新規就農者を確保するためには、農業委員会が承認する独自の就農認定基準を定め、就農希望者の知識や技術力を確実に担保していく必要が生じた。
- 茨木市農業経営基盤強化促進基本構想において、「貸借可能な農地の確保」と「就農希望者の育成」を一体的に推進できる仕組みの創設を位置づけた。

↓

令和6年度から茨木市独自の取組みをスタート！

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○地域農家制度

【技術】
- 市で開設した就農者育成施設
  「就農支援塾あぐりば」
- 農業大学校
- 地域での一年以上の援農　など

一定の知識や経験を有していると認定

【地域調和要件】
- 地域のルールを遵守し、農業に従事する適性を見極めるためのもので、農地の貸借前に、必要に応じて、就農希望者には市が指定する地域での共同作業等への参加を求める。

地域農家候補者または認定新規就農者に認定し、積極的に農地をあっせん。

R7.4.1～R8.7.1の新規マッチング面積→約**4.9ha**

うち地域農家制度 ＆ 就農支援塾あぐりば生が借りた面積→約**2.4ha**

○就農支援塾あぐりば

- 市内山間地域の市の研修圃場で一年間実習（栽培・出荷・農業機械操作等）
- 募集は半年に一回、４～５人
- 露地野菜、慣行農法
- 市の営農指導員が講師
- 修了生を地域農家候補者に認定し、就農後もサポート
- 修了生12人（R8.2時点）全員が市内農地で営農開始



就農支援塾あぐりば



1期生圃場（ビフォアー）



1期生圃場（アフター）



2期生圃場（ビフォアー）



2期生圃場（アフター）

○市民農園の推移

- 都市住民に土とふれあう機会を持ってもらい、農に対する理解を深めてもらうことを目的に、市において市民農園を開設。

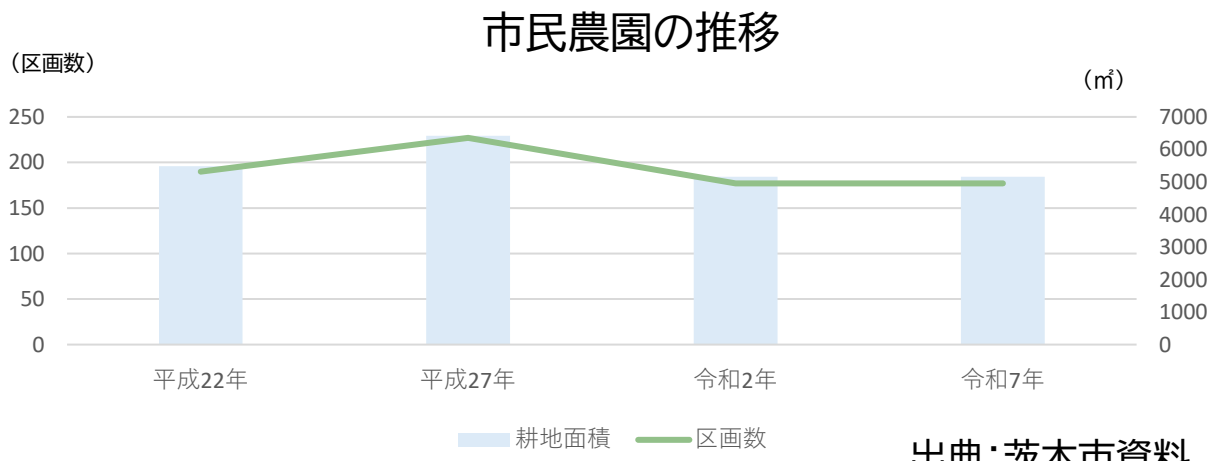
●市で開設した市民農園

- 銭原、山手台、彩都やまぶき、彩都東、総持寺の５農園

●民間で開設した市民農園

- 貸農園ピアニッシモ、
- 吉田農園　　など





出典：茨木市資料

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

【市内産農産物の販売について】

○地場産野菜の販売箇所･･･地産地消の推進

- 見山の郷（農事組合法人）
- みしま館（JA茨木市）
- 準農家マルシェ、いばきたマルシェ（地元農家）

○その他

- イオンモール茨木、アルプラザ茨木、おにクル
- ダムパークいばきた



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

農産物直売所

de愛・ほっこり　見山の郷





茨木市大字長谷1131
9:00～16:00(火曜定休)









農産物直売所

みしま館





茨木市庄2-26-22
9:30～17:00(水曜定休)





茨木の林業について



茨木市の森林の概要

森林率（森林率＝全体面積に対する森林面積の割合）

全国 約67%　大阪府 30%（全国ワースト2位）

※林野庁統計R4.3.31現在

茨木市 32.5%（大阪府の平均よりは少し高い）

（茨木市森林面積2,483ha）

※茨木市森林整備計画

表.北摂の森林率

市町村	豊中市	池田市	箕面市	豊能町	能勢町	吹田市	高槻市	茨木市	島本町
森林率	0%	25%	50%	64%	78%	0%	44%	32.5%	58%

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

人工林率（人工林率＝森林面積に対する人工林面積の割合）

全国 40%　大阪府 49%(全国より少し高い)

※林野庁統計R4.3.31現在

茨木市 20%(大阪府全体に比べて低い)

※茨木市森林整備計画

表.北摂の人工林率

市町村	豊中市	池田市	箕面市	豊能町	能勢町	吹田市	高槻市	茨木市	島本町
人工林率	0%	11%	19%	51%	36%	0%	52%	20%	36%

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

高槻市との比較

	茨木市	高槻市
森林率	32.5%	44%
人工林率	20%	52%
山の形状	山の傾斜が緩い	山の傾斜がきつい
集落	山の斜面に集落や棚田が多い	集落は谷間にあり、田は山間の少ない平地
その他	茨木の山は、薪や炭の他、生活資材や農業の資材、肥料の農用林に使われていた ↓ 薪や柴を売るだけで生活ができ、戦後の植林ブームに乗らなかった	高槻の山は、生活や農業にはあまり使われなかった ↓ 戦後の植林ブームに乗った

茨木市の森林は、天然林が多く、林業は零細なものとなっている

茨木市が行う森林関連の主な事業

〇森林整備事業

〇人工林や天然林の整備に対する補助

〇ボランティアによる森林保全活動の支援

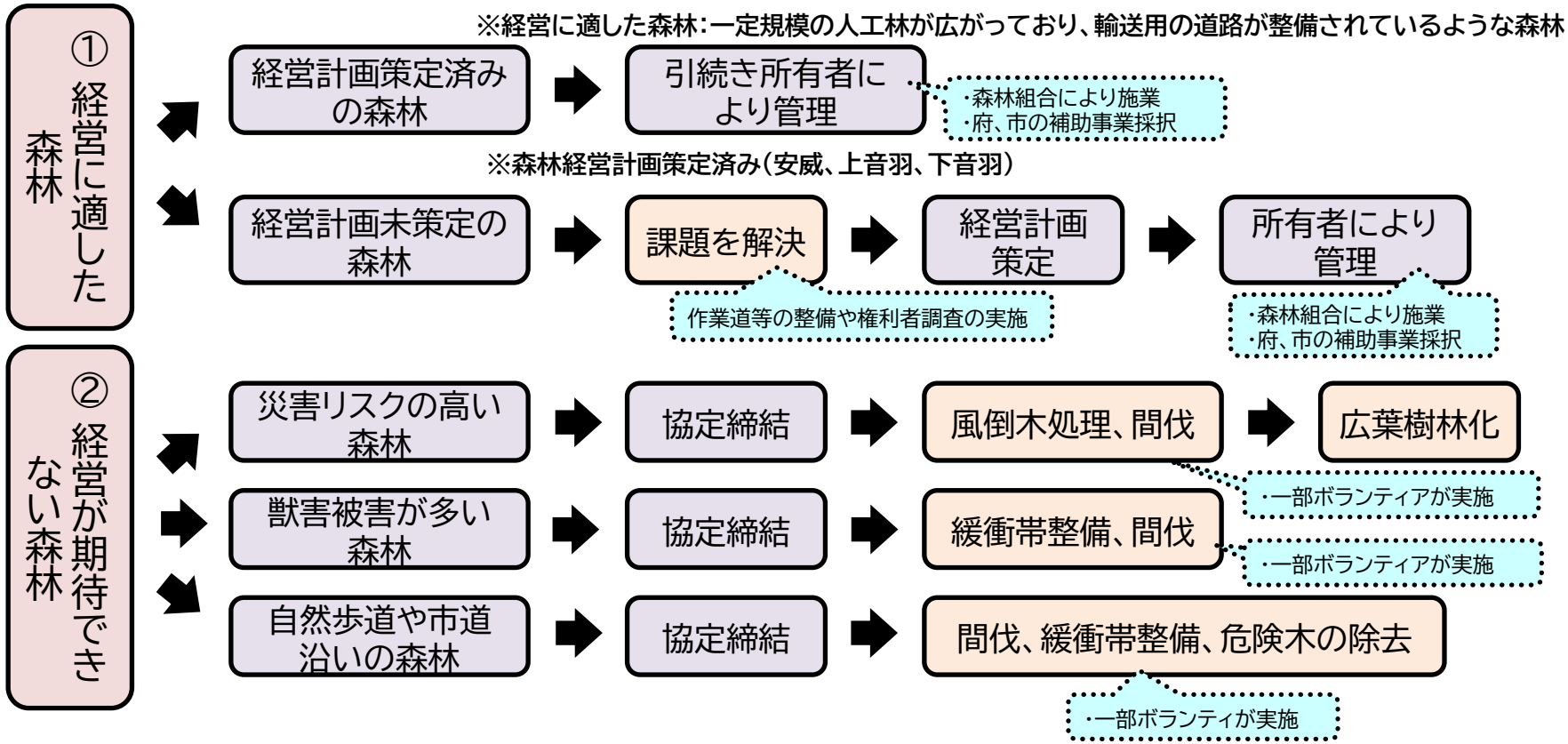
〇森林環境サポーター養成講座の開講

〇林道の整備・維持管理

〇自然歩道の維持・管理　　等

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○森林整備事業



は森林環境譲与税を活用予定（R7①下音羽、②銭原）

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○人工林や天然林の整備に対する補助

茨木市森林整備事業補助要綱

- 人工造林、保育（下刈、枝打ち、除間伐 等）及び人工林・天然林の整備に必要な経費を支援



下刈



枝打ち

※大阪府森林組合にて施工（R6安威、泉原）

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○ボランティアによる森林保全活動の支援

- 1990年代
  市民ボランティアによる自発的な里山保全活動が開始・継続



- 2006年（平成18年10月）
  市民参加による里山保全活動の拠点として「**茨木市里山センター**」を開設



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

- **2007年(平成19年7月)**
「里山サポートネット・茨木」設立

構成団体：森林ボランティア団体
地元自治会
大阪府森林組合
茨木市林業推進協議会　等

役割

●茨木市里山センターの管理運営
●里山里地保全活動の拡大推進を目的
●行政との話し合いの窓口
●森林所有者とボランティアの調整役・相談役
●ボランティア団体同士の調整役　等

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○森林整備ボランティア団体活動促進事業

- 2020年(令和2年)よりボランティア団体が茨木市内で自主的に実施する森林整備事業に対し補助金を交付

(対象経費)

労務費、資材費、諸経費、調査費

(事業主体)

里山サポートネット・茨木に加入し、
森林整備活動を行うボランティア団体

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

○森林環境サポーター養成講座の開講

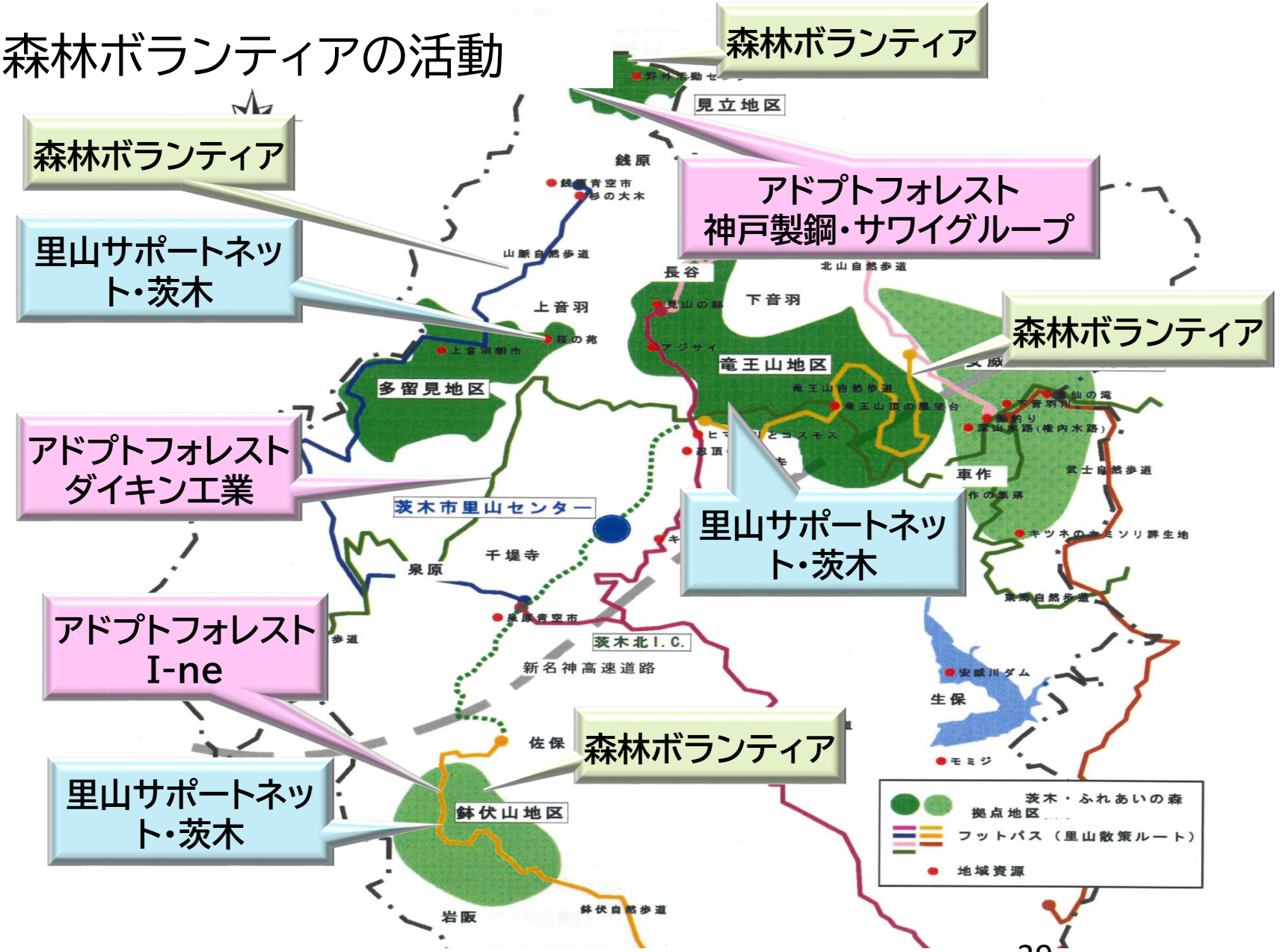
- 2005年度(平成17年度)
  森林サポーター養成講座を開講
- 2024年度(令和6年度)
  森林環境サポーター養成講座としてリニューアル
  昨年度までの20年間で355名が受講



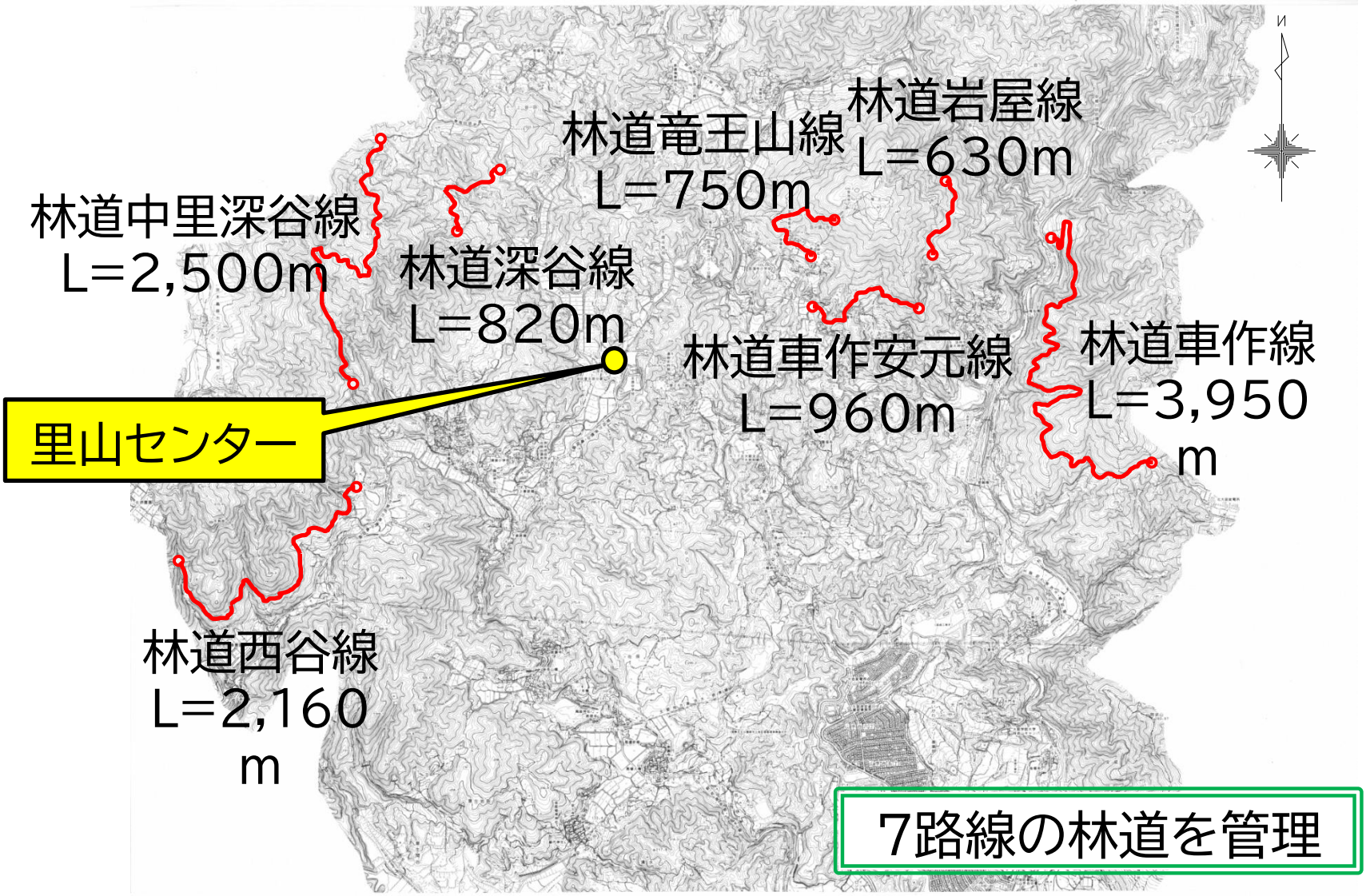


次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

■ 森林ボランティアの活動



○林道の整備・維持管理


林道竜王山線
L=750m
林道岩屋線
L=630m
林道中里深谷線
L=2,500m
林道深谷線
L=820m
林道車作安元線
L=960m
林道車作線
L=3,950
m
里山センター
林道西谷線
L=2,160
m
7路線の林道を管理

➢ 林道整備

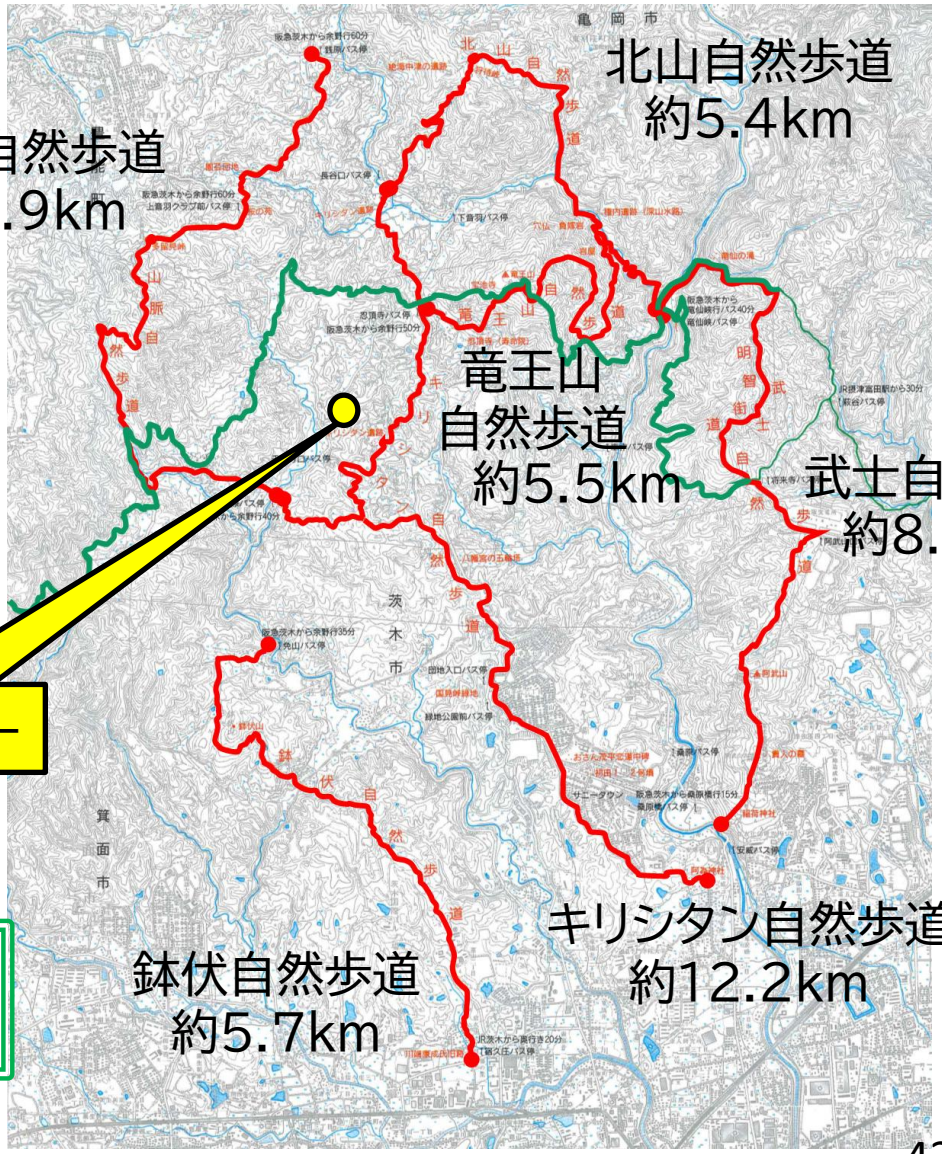








○自然歩道の維持管理



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

家族向けコース

鉢伏自然歩道

川端康成氏旧跡のある宿久庄一丁目から佐保免山までの全長約5.7㎞、所要時間3時間の手軽なコースです。栗生岩阪集落の北には標高296mの鉢伏山があります。

宿久庄バス停 0.1キロ 川端康成氏旧跡 3.0キロ 栗生岩阪集落 0.9キロ 鉢伏山 1.4キロ 梅原集落 0.3キロ 免山バス停



川端康成氏　旧跡

健脚向けコース

ものふ 武士自然歩道

桑原橋を起点に高槻市との市境を安威川沿いにのぼり、途中、一名「美人山」と呼ばれる阿武山を越え、明智街道を通り竜仙の滝へ抜け、車作大橋までの全長約8㎞、所要時間3時間のコースです。

桑原橋バス停 0.4キロ 稲荷神社 0.8キロ 貴人の墓

0.7キロ 阿武山 1.7キロ 阿武山口バス停

明智街道 3.9キロ 竜仙の滝 0.5キロ 竜仙峡バス停



竜仙の滝

一般向けコース

キリシタン自然歩道

阿為神社を起点に全長約12.2㎞、所要時間4時間のコースです。途中には、キリシタン遺跡をはじめ、おさん茂平恋道中碑、初田1・2号墳などのたくさんの史跡があります。この自然歩道は千提寺で長谷方面と泉原方面に分かれています。

安威バス停 0.5キロ 阿為神社 1.9キロ 恋道中碑 おさん茂平 初田1・2号墳 0.9キロ 国見峠緑地 1.4キロ 八幡宮の丘輪路

泉原バス停 2.2キロ

千提寺 キリシタン遺跡 2.4キロ キリシタン遺跡 下音羽 0.3キロ 長谷口バス停



おさん茂平恋道中碑、初田1・2号墳

一般向けコース

やまなみ 山脈自然歩道

泉原バス停から銭原バス停までの全長約7.9㎞、所要時間4時間のコースです。途中には、桜の苑や園芸団地などがあります。また、多留見峠までの林道では、木立からの美しい眺望を楽しむことができます。

泉原バス停 4.6キロ 多留見峠 1.1キロ 上音羽クラブ 0.1キロ 桜の苑 0.2キロ 園芸団地 1.0キロ 銭原集落 0.9キロ 銭原バス停



多留見峠

健脚向けコース

北山自然歩道

車作大橋から権内水路（深山水路）を通り、長谷口バス停までの全長約5.4㎞、所要時間3時間のコースです。亀岡との市境は多少起伏がありますが、雑木林の新緑や紅葉が歩を進ませてくれます。

車作大橋 1.2キロ 権内水路（深山水路） 1.2キロ 清阪集落 1.4キロ 狩待峠 1.6キロ 長谷口バス停



みやま
権内水路（深山水路）

健脚向けコース

竜王山自然歩道

忍頂寺バス停から車作大橋までの全長約5.5㎞、所要時間2.5時間のコースです。一部、東海自然歩道の竜王山の山頂には展望台があり、市内の眺望を楽しむことができます。また、そこから岩屋・穴仏への道程では孤独を楽しむ散策へとあなたをさそってくれるでしょう。

忍頂寺バス停 0.6キロ 忍頂寺・寿命院 0.5キロ 宝池寺 0.3キロ 竜王山展望台 0.8キロ 穴仏・負嫁岩 0.1キロ 岩屋 0.6キロ 清水集落 1.4キロ 権内水路（深山水路） 1.2キロ 竜仙峡バス停



穴仏

○森林環境譲与税

- 2019年(平成31年)3月、「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が創設。

- 市町村においては、
  「森林の整備に関する施策」
  　間伐などの森林整備事業
  「森林の整備の促進に関する施策」
  　森林を支える人材の育成や担い手の確保
  　木材利用の促進
  　森林に対する国民の理解を深める普及啓発活動

☆これらの施策を通じて、森林の公益的機能を維持・向上させる目的

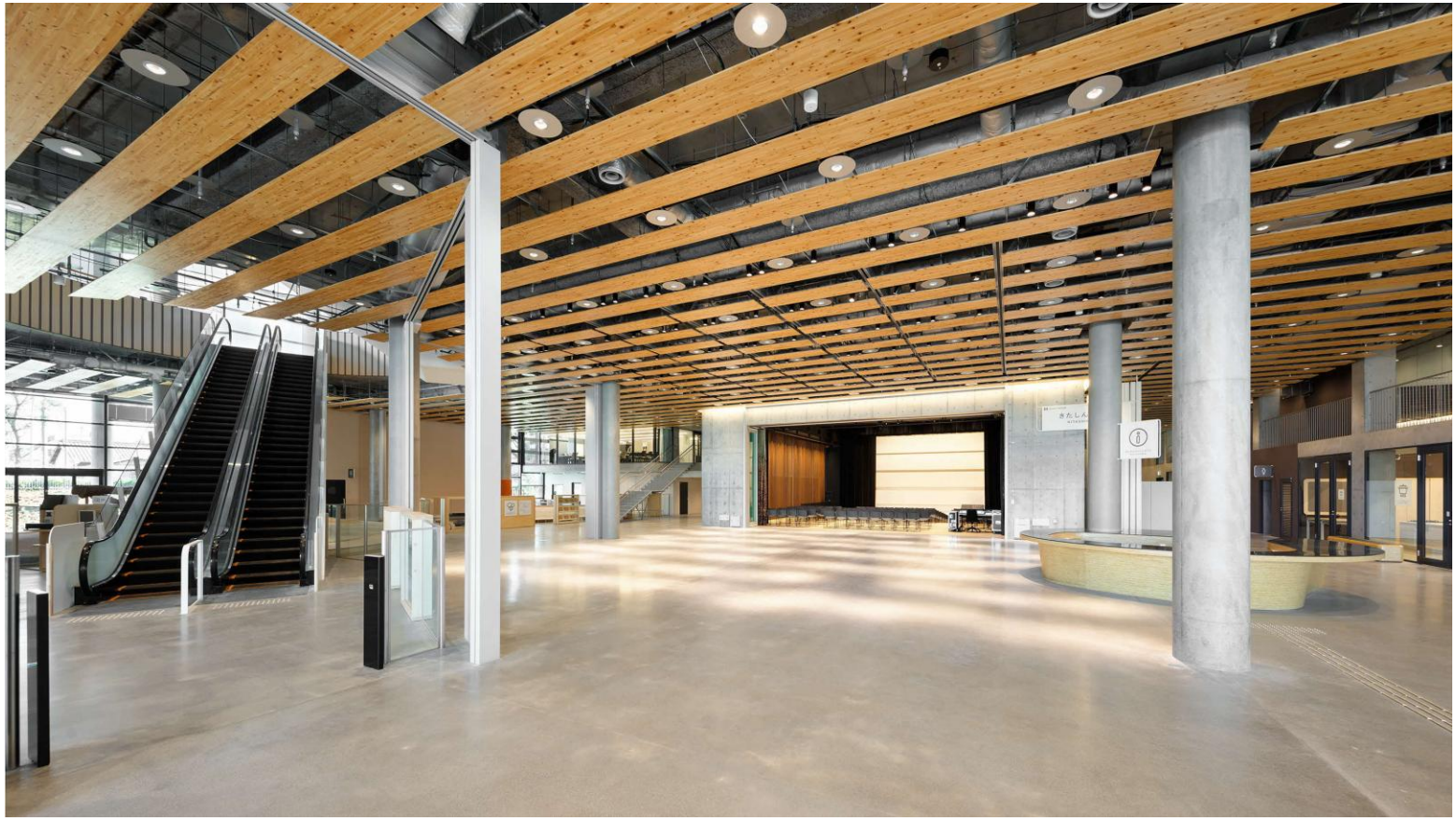
次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

■ 森林環境譲与税、本市の使途

森林ボランティアが実施する森林整備に対する補助や木材利用の促進、普及に対し、支出しています。

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

おにクル1F　エントランス広場・オープンギャラリー 等



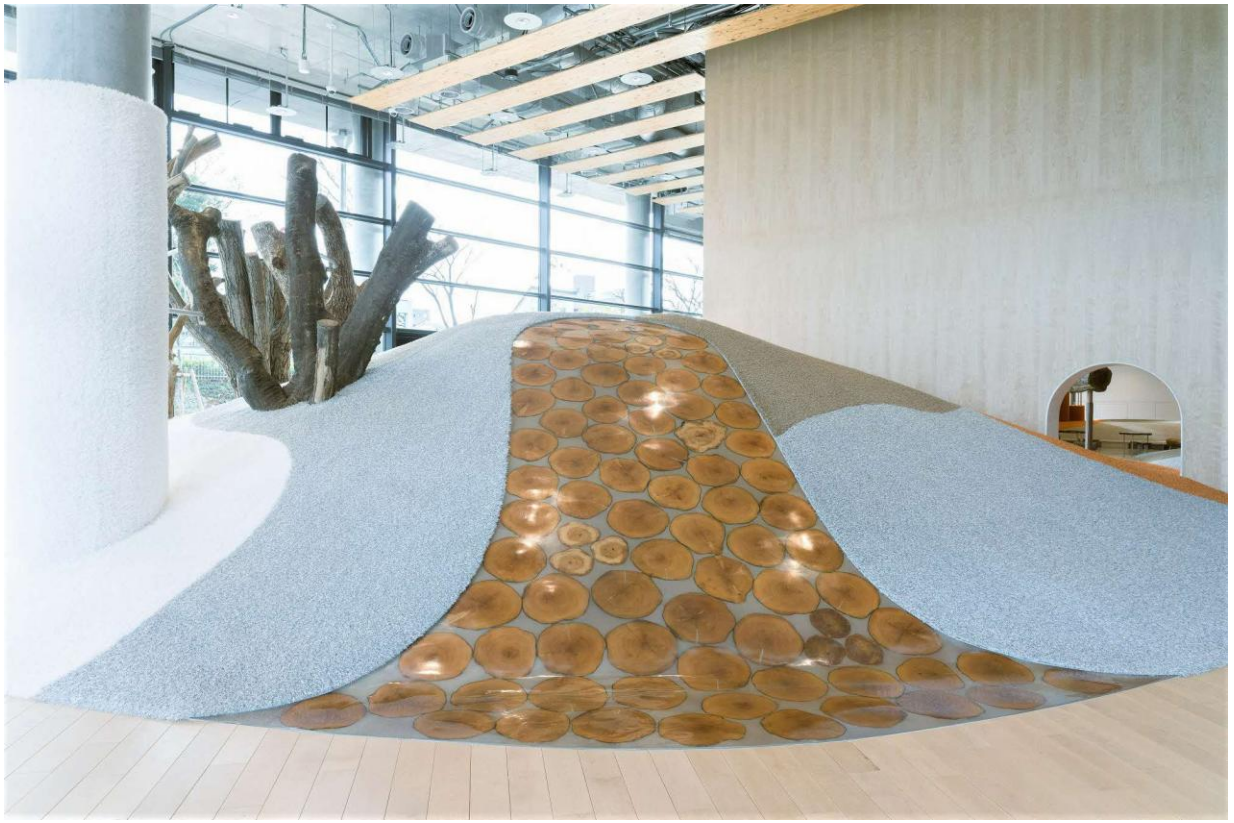
次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

おにクル7階　和室



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

おにクル1階　屋内こども広場 まちなかの森「もっくる」



次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

農業関連施策の指標推移

事務事業名	指標	指標の推移			
		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7度 実績
神安関係負担金事業	水路安全柵改修	m	0	0	0
	北川排水路整備	m	0	162	181
	三島平野北部地区　幹線排水路整備	m	650	0	120
	目垣北水路安全柵整備	m	290	168	0
土地改良団体負担金事業	石河土地改良区	ha	22	ー	ー
新規農業者養成事業	国の新規就農等事業の活用	件	3	1	3
	地域農家者数(準農家含む)	人	30	41	56
環境保全型農業推進事業	エコ農産物栽培者数(補助実績)	人(団体)	35	34	36
	エコ農産物栽培面積(補助実績)	アール	1,463	1,461	1,513
	農空間活用事業(土づくり)	団体	1	1	0
農業者支援事業	準農家登録者数(累計)	人	37	ー	ー
	準農家等マルシェ出荷者	名	7	6	ー
	学校給食地場産野菜供給量	t	17.8	13.7	22.2
	大阪版認定農業者新規認定数	件	11	7	7
景観作物活用等事業	れんげ米栽培面積(補助実績)	アール	842	859	945
	れんげ栽培面積(補助実績)	アール	0	9	9
ふれあい農園管理事業	各ふれあい農園利用区画数	区画	168	177	176
農業祭開催事業	農業祭参加者	人	40,000	60,000	70,000
	出品数	点	606	539	610

農業関連施策の指標推移

事務事業名	指標	指標の推移			
		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7度 実績
経営所得安定対策等推進事業	経営安定対策交付金申請	人	41	44	44
	営農計画提出戸数	戸	1,518	1,496	1,476
都市農業施設等整備補助事業	大阪版認定農業者支援件数	件	0	0	1
	認定農業者及び農作業受託者等支援件数	件	1	1	0
農業用施設等維持管理事業	農業用施設維持管理事業実施件数	件	5	7	7
	確定測量面積	㎡	0	0	0
	ため池維持管理補助事業	か所	―	―	4
土地改良補助事業	耕地事業　補助件数	件	9	8	8
農林業施設災害復旧事業	農地災害復旧事業(国庫補助)実施件数	件	12	3	1
	農業用施設災害復旧事業(国庫補助)実施件数	件	0	0	0
	市単独災害復旧事業　実施件数	件	4	0	0
ため池防災減災事業	ため池ハザードマップの作成	か所	0	0	0
	ため池整備	か所	0	0	0
地域計画運営事業	都市住民等とのマッチングを行った農地面積	アール	―	7	343

林業関連施策の指標推移

事務事業名	指標	指標の推移			
		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7度 実績
林業振興事業	森林整備事業補助	ha	6.9	5.6	3
	林道管理事務	m	11,768	11,768	11,768
	桜の苑開園	日	32	32	34
林道維持事業	アスファルト舗装等	㎡	125	0	164
	側溝・フェンス補修等	m	10	8	20
茨木市里山センター運営事業	利用者数	人	10,592	10,872	10,074
	施設利用実績	回	1,262	1,302	1,241
北辰中学校跡地活用事業 （令和6年度完了）	オートキャンプ場利用者数	人	700	780	661
市民参加型森林保全事業	森林サポーター養成講座受講者数	人	22	24	25

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。